

A. 日時 2013 年 9 月 19 日（木）17 時 00 分～19 時 00 分

B. 場所 建築学会会議室

C. 出席者 岡野利行（主査）、稲留康一、井上勝夫、岩本 毅、杉江 聡、田端 淳、永松英夫、濱田幸雄、  
平松友孝、宮島 徹（幹事）、

欠席者 穴井 謙、古賀貴士、坂本慎一、佐久間哲哉、佐藤 洋、佐藤史明、中澤真司、平光厚雄、  
安田洋介（幹事）（敬称略）

D. 提出資料

2013 年度第 2 回音環境運営委員会議事次第

No. 2-0 2013 年度第 1 回音環境運営委員会議事録（案）

No. 2-1 2013 年度大会研究懇談会報告（案）

E. 議事記録

1. 前回議事録の確認（資料 No. 2-0）

・以下を修正し承認された。

P2 30 行目 環境工学科連合講演会→環境工学連合講演会

2. 環境工学本委員会の報告（資料 No. 2-1）

2.1 報告事項

(1) 学術推進委員会（7/4）報告

- ・小委員会活動報告が HP に掲載された。各小委・WG で確認頂きたい。
- ・直営出版物、委託出版物で残部が多い書籍は、シンポジウム等を利用し販売を促進してほしい。  
（音声伝送 AIJES：1000 部印刷 765 残、学校 AIJES：1000 部印刷 474 残、SMILE：500 作成 324 残）  
完売或いは残部僅少の書籍の取り扱いについて主査が確認する。
- ・シンポジウムの収支報告があり、音環境系は第 73 回音シンポ（収支+19.9 万円）など貢献。
- ・Ustream 配信について、地方を含む複数会場での催し物や建築会館会議室での催し物も対象とする。
- ・会員外の委員委嘱のルールについて再確認された。
- ・大会での優秀発表賞について、環境工学本委員会からの意見を提出した。（委員長の意向は来年度実施）
- ・来年度大会の主要日程について。4/8 電子投稿締切、4/22 プロ編、9/12-14 大会実施（未確定）
- ・2014 年の若手奨励特別研究委員会の募集を行っている。10/25 締切
- ・2014 年度の委員会活動計画、設置申請。廃止申請、刊行計画等の作成・提出依頼があった。

2.2 審議事項

(1) 業績候補推薦

- ・大賞候補の推薦は 11/22 事務局締切。音環境として数年間継続して戦略的に推薦してはどうか、という意見があった。

- ・文化賞候補の推薦があれば主査まで。
  - ・教育賞の推薦は、本委員会にて荒谷先生（北大名誉教授）を推薦することが決まった。
- (2) 特別研究委員会設置提案について
- ・締め切りを過ぎているが、若干時間の猶予があるので該当があれば提案してほしい。
- (3) 2014 年度「技術部門設計競技」課題提案のお願いについて
- ・締め切りを過ぎているが、若干時間の猶予があるので該当があれば提案してほしい。
- (4) 調査委員会「資料閲覧者」の募集（案）について
- ・申請者に対して該当委員会の審査を行った上、ストレージサーバの閲覧を許可する仕組みが提案されたが、本委員会では否定的な意見を出すこととなった。
  - ・委員会オブザーバーへの閲覧許可が包含されているならばよい、一般会員から申請があってもほとんど拒否されるのでは、等の意見があった。
- (5) 13 年度大会研究協議会、研究懇談会資料のデジタルライブラリ無償公開について
- ・残部の販売を考えて、1 年後に無償公開とする。
- (6) 2014 年度の大会について
- ・締切りまでに細分類・細々分類の変更要望はなかったが、強い要望があれば追加で検討するとのこと。
  - ・OS は環境系で 5 件提案あり。音環境からの提案を含め了承された。
  - ・AIJES については、研究協議会などのような環境系全体での議論が必要ではないかという意見があった。
- (7) WG の設置申請
- ・申請した「子どものための音環境 WG」は承認された。
- (8) 委員の公募結果について
- ・委員の公募結果報告書には、当該委員の業績を盛り込んでほしい、という要望が委員長よりあった
- (9) 来年度の予算配分について
- ・2013 年度の予算配分の方法を踏襲して行う、との報告があった。

## 2.3 その他

- (1) 予算の執行状況
- ・9 月 16 日現在で音環境全体の消化率は 39%.

## 3. 審議事項

### 3.1 「音環境規準」「設計指針」AIJES の CD 段階での外部査読について

- ・CD 段階での外部査読は、担当された先生の意向により、原稿チェックという位置付けとし、外部査読は行わなかったこととすることで了承された。2008 年度版のフローでは CD 段階での外部査読は任意であるため、手続上の問題は生じないことを確認した。

## 4. 各小委員会・WG の活動報告

### 4.1 固体音小委員会（稲留主査）

- ・8/22 に開催。床衝撃音の検討を進めた。昨年度行った文献調査が形になったので、小委員会の HP に掲載するよう作業を進める。次回開催は 10/11。

- ・鉄道固体音測定法検討WGは9/13に開催。鉄道に限らず固体音の事例収集を進める。次回開催は11/26。

#### 4.2 集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会（岩本主査）

- ・7/11、9/18に開催。遮音性能規準の決定プロセスに関する議論を行っている。また属性に偏りのない集住の室内騒音データの収集方法を検討中

#### 4.3 建築音響測定法小委員会（杉江主査）

- ・7/4、9/5に開催。遮音性能やフランキングのインテンシティによる測定法、PUセンサなどを使った現場での吸音性能測定法について検討を始めている。

#### 4.4 室内音響小委員会（佐藤主査：欠席）

#### 4.5 音響数値解析小委員会（坂本主査：欠席）

#### 4.6 音環境規準検討小委員会（古賀主査：欠席）

#### 4.7 企画・広報WG（中澤主査：メール報告）

- ・WGを6/28、8/26に開催。SWGの活動状況確認と本年度以降の活動内容の議論を行っている。
- ・SWG1は7/11に開催。大会で報告した研究動向DBの10月公開を目指し最終整備中。
- ・SWG2は7/23、8/27に開催。（仮称）住まい方マニュアルの目次・構成を審議、近々に技報堂出版と意見交換を行う。次年度、出版に向けて刊行小委を立ち上げたいので、早急に準備してメール審議をお願いする。

#### 4.8 音環境規準刊行小委、設計指針刊行小委

- ・外部査読を橘先生に7/4にお願いし、8/16に結果を受領した。
- ・環境規準作成小委員会（企画刊行運営委員会傘下）にて第1回外部査読者との経緯を説明し、了解を得た。11月1日の委員会に刊行計画書、査読結果報告書を提出する予定。

#### 5. 他学会・研究会の予定

- ・建築音響研究会  
10/29日大理工、11/20大阪、12/18大分大学、1/31旭川

#### 6. その他

- ・今後の委員会構成等について追々議論をしていきたい、との希望が主査から出された。

#### 7. 次回以降の予定

- ・11月28日（木）、2月21日（金）

以上